まなぶ
2022年11月号
No.796

♣ 扉 ちっぽけな心 サトータツオ 1
♥ まなぶということ 山田（樋浦）敬子 2
♠ 今月の統計資料 4
◆ 詩 あらゆる生命を根絶させる道 木村 和 8

特集 憲法がもたらしてくれる選択

Q&A「新しい資本主義」がめざす国づくり ……横田昌三 10
憲法の下で生きる、とは ……斉藤小百合 13
日本国憲法の下で自由に学ぶ ……松田敏子 24
日本のうしお 世界のうしお
日中国交正常化から50年をふり返る ……湯浅一郎 27
欧州に広がる極右の波 ……中村勝己
職場の法律相談 試用期間で本採用されずに解雇されないか不安です ……河 潤美 34
憲法 ⑪ 日本の裁判所 ……北川鑑一 37
第2特集 新型コロナ感染拡大下での医療従事者のたたかいと労働条件 ……佐々木伸樹 54
誌上学習会『イギリスにおける労働者階級の状態』② 序説 ……60
◆ 働く現場から 41・52
◆ みんなで歌を 42
◆ キャラバンサライ 44
◆ スポーツ時評 46
◆ メルボルン便り 48
◆ 中國觀看 50
◆ 北から南から 64
◆ センターとみなさんをつなぐ 68

カット＝野﨑安希子

まなぶということ

統一教会・宗教右派と「家族」

山田（樋浦）敬子

安倍元首相狙撃事件が、統一教会問題を浮き彫りにした。地道に追いつづけていたジャーナリストや、継続して被害者救済に手を尽くしてきた弁護士たちが説明する統一教会の教義や自民党国会議員との深い関わり、日本の信者の献金の行方が大きな関心を呼んでいる。

統一教会の「恋愛は殺人以上の罪」「純潔主義」などの教えや性教育・LGBTQ問題への介入も注目を集めている。宮崎県都城市の男女共同参画社会づくり条例に「性的指向にかかわらず」という文言があると知った「世界日報」（統一教会系メディア）は、この小さな自治体の条例つぶしに動いた。

性教育やジェンダー平等、同性愛などを敵視し、自民党の関連政策に影響を与えてきたのが日本会議や神道政治連盟など宗教右派であることはよく知られている。2000年前後から日本会議系右派論壇や地方組織を総動員した「ジェンダーバッシング」が展開された。都立七生養護学校（日野市）の性教育に介入して、最終的に都議や都教委が敗訴した「事件」が04年。05年には、自民党「過激な性教育・ジェンダーフリー教育実態調査プロジェクトチーム」（安倍晋三座長、山谷えり子事務局長）が発足。翌年1月、政府は「ジェンダーフリー」という用語を使用しないようにと連絡。この年、改正教育基本法に家庭教育が組み込まれた。

そしていまも、自民党の保守派議員（その中心に安倍氏がいた）は、夫婦別姓反対、LGBTQ攻撃、性教育忌避に熱心だ。これは、統一教会や日本会議系宗教右派の主張でもある。子ども庁構想が突然こども家庭庁になり、6月には神道政治連盟国会議員懇談会でLGBTQへの偏見・差別、選択的夫婦別姓への攻撃が書かれた冊子が配られた。教義の上からは相容れないはずの右派宗教諸勢力が「伝統的家族」の死守では一致している。憲法24条に家庭保護条項を加えるということを改憲の最優先課題とする。その行動力、影響力は侮れない。（山川菊栄記念会）